



おんのかさか

昼の部

FOOD

Compos



白膠木さん
躑躅森さん



『どついたれ本舗——！』







いやー

お前ら
ほんつまに全部
持っていきよつたなあ！

俺はこいつら
すぐ売れる！
思うとつたぞ

悔しいけど
ほんまに
おもしろいわ

コイツ売れた途端
調子のいいこと
言いおるな！

なあ

東京進出の
話来とるって噂
マジか？

もつたいぶらんと
教ええや！
いつなん？

たはー！
ありがとうございます
あのネーミング

あ！？俺はずっと
大ファンやぞ
魚屋のネタ見た時からな

いやあー俺らまだ
そんな身分と
ちやいますよ







お前の声は
神さんからもらった
宝もんやからなあ…



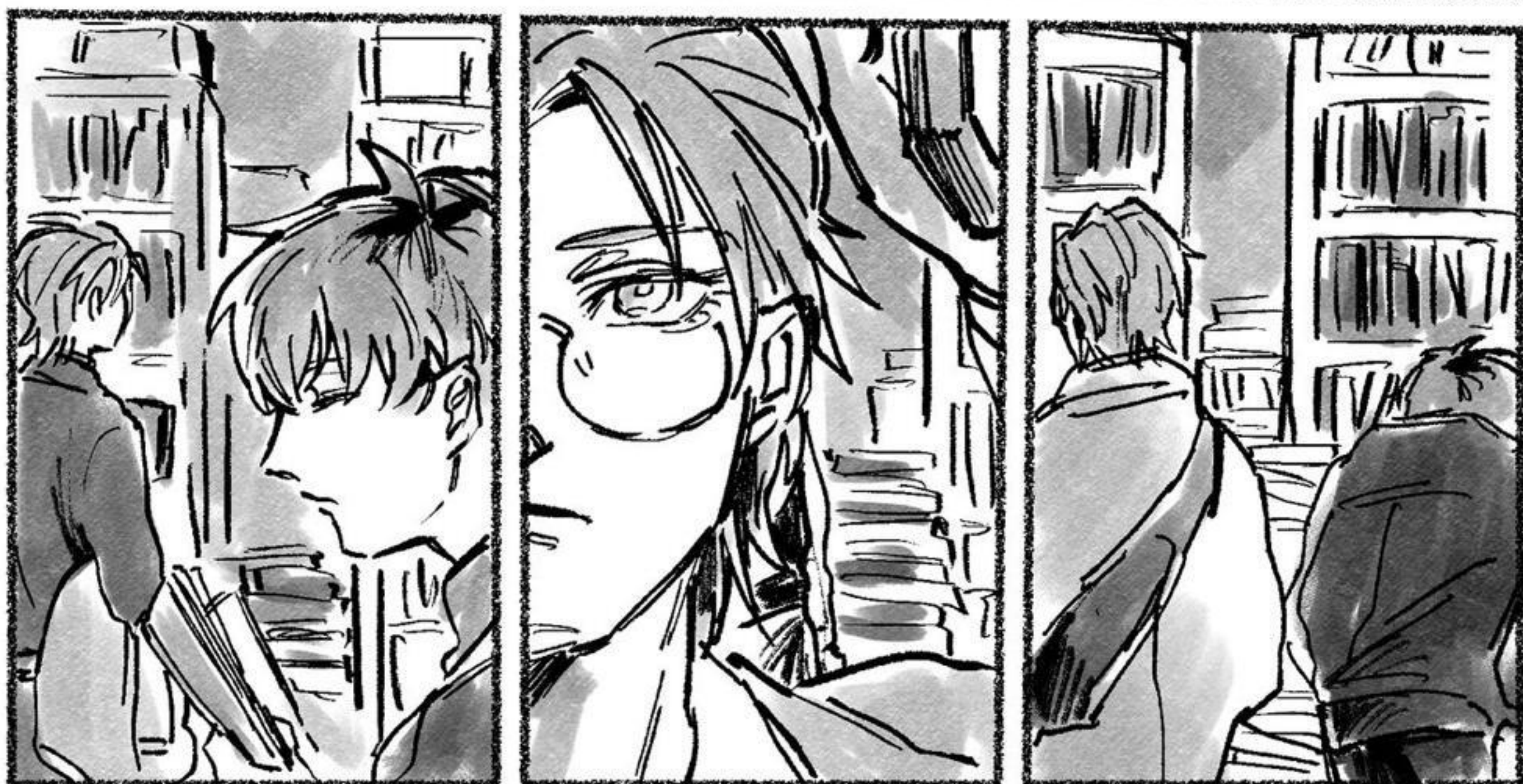
おみせやろ
コソコソ

俺もろよーのま
すっキヤビー

ん、ふふ
なんやそれえ
ろしよ、飲み過ぎー…











昨日も高橋さんがな
東京の局から
声かかってるて

え
俺聞いてへん

虚笹吉里兄さんに
絡まれとった

ああ

実際なあ…
どう思う

せやなあ、
やつぱりなあ…

悪うはないけど、
まだ早いかなー
思うねん

俺もそう思うわ

やんなあ
ただでさえ
急に売れたし…

勿論むっちゃ
ありがたいことやけどな！



お前となら
どこまでも行けると思うとる

鷹、俺はな



でもまだ全然足りん

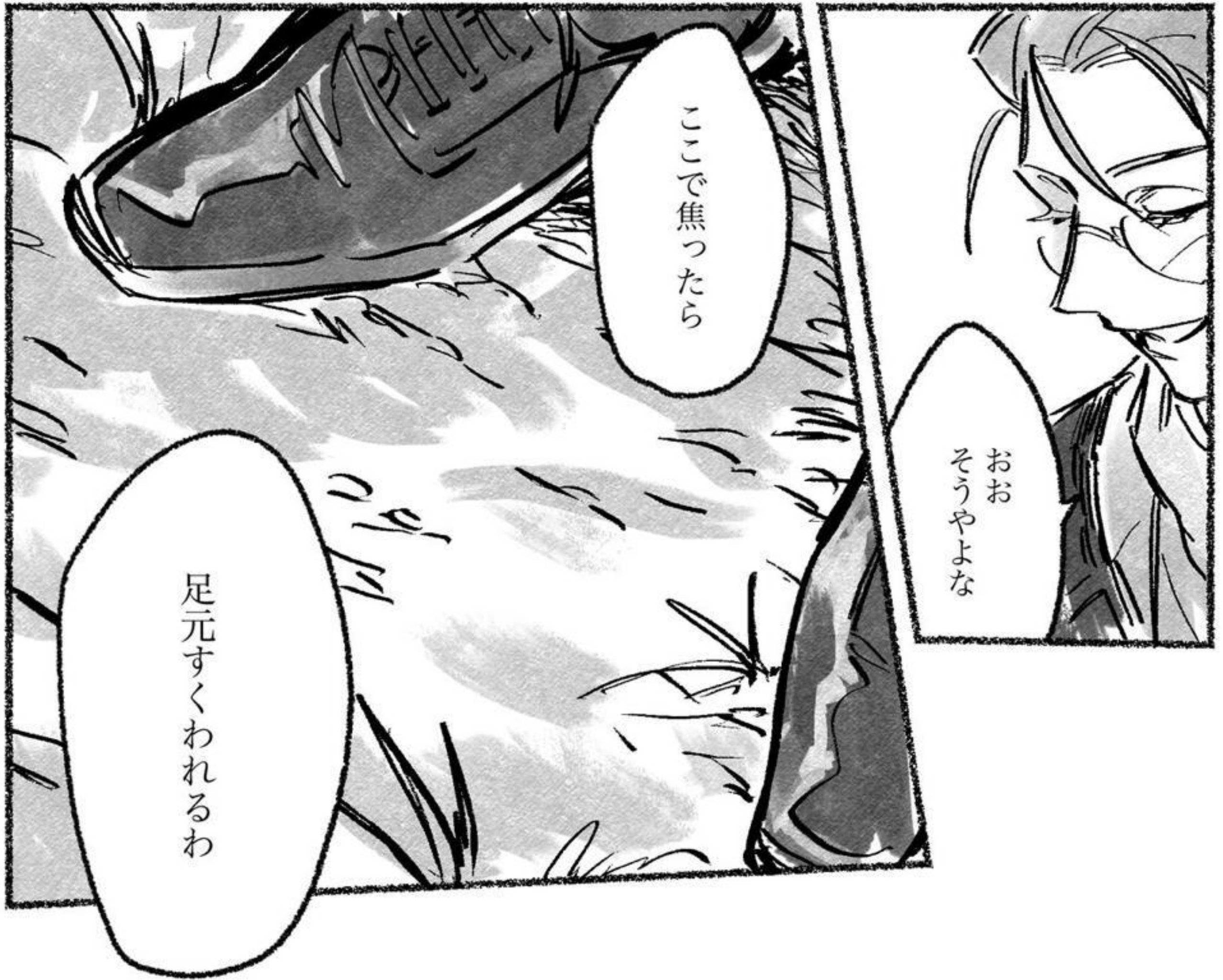
大阪の人みんなに
俺らの漫才
見てもらいたい！

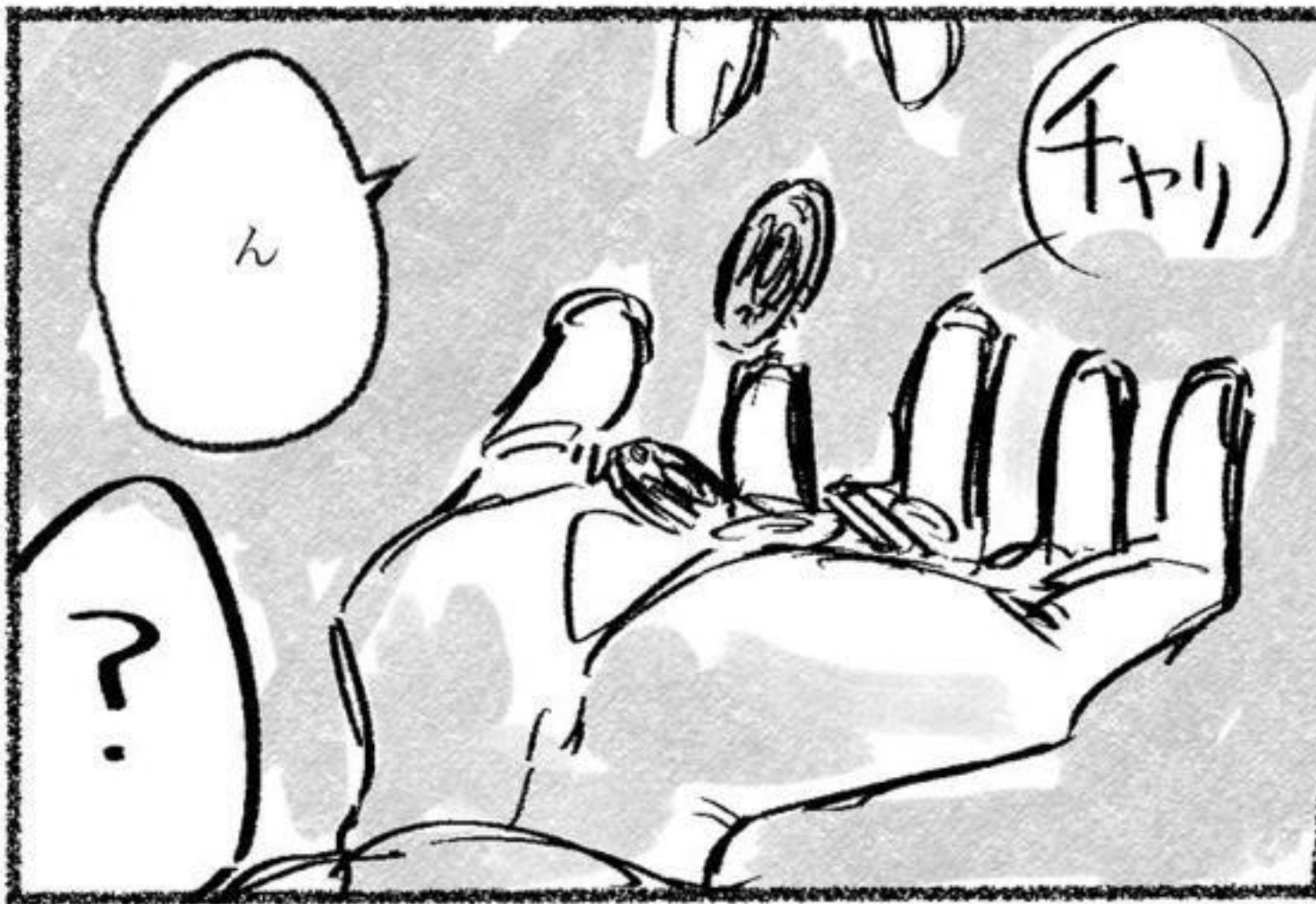


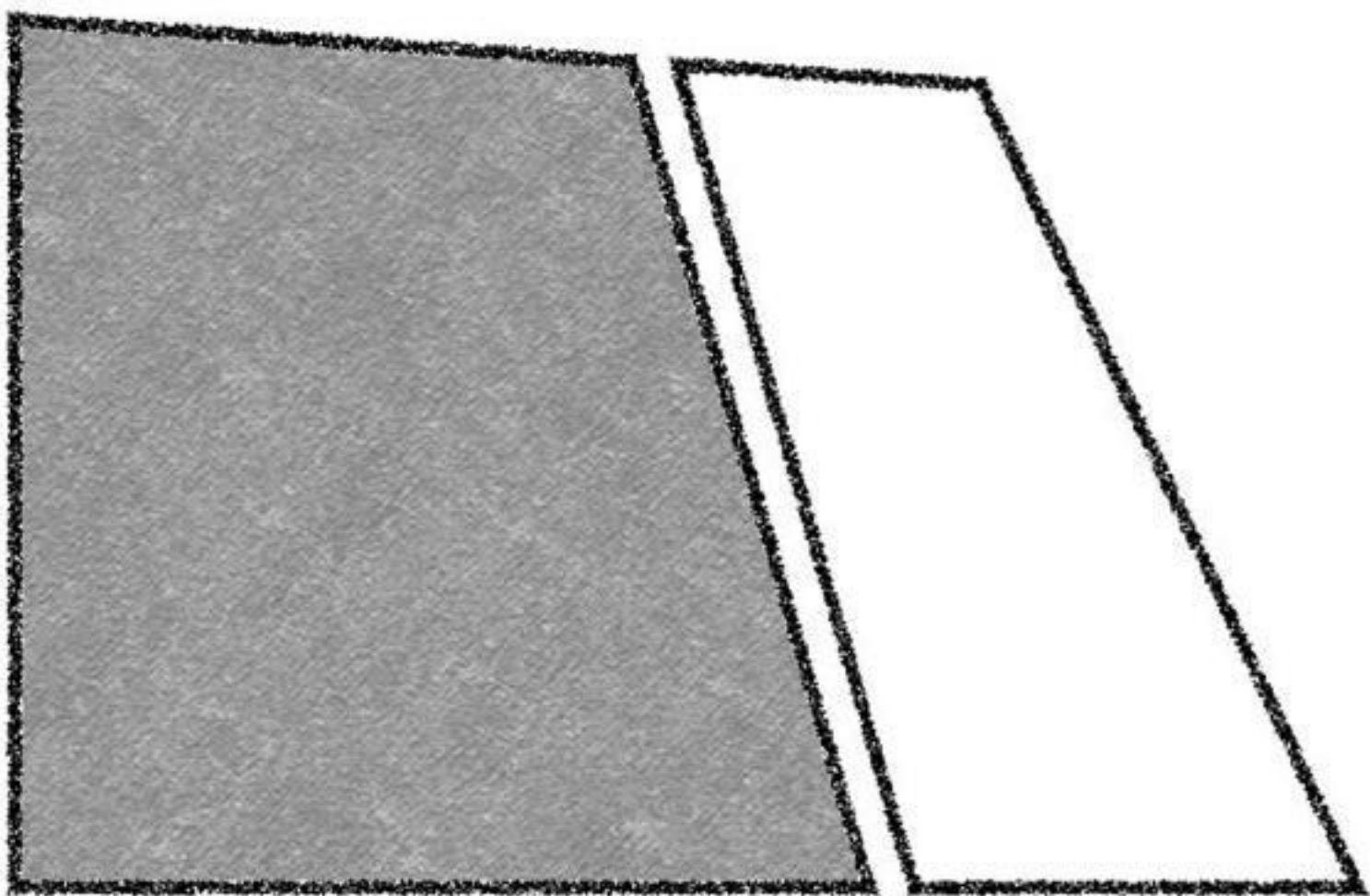
それまで関東には
行かれへんわ

せやせや！
勢いも大事やけどね

今はこっちで
出来ることやって
地に足つけるべきやなあ











あつ



あつ



おっ？



そなたはどなた様かー
僕等からインタビュー
希望は……！！

足元を早くいじで
しおま、怪しむわ



結構重要な
盧笙のセリフが一個飛んだ

アホ
アホこのアホが
アホ



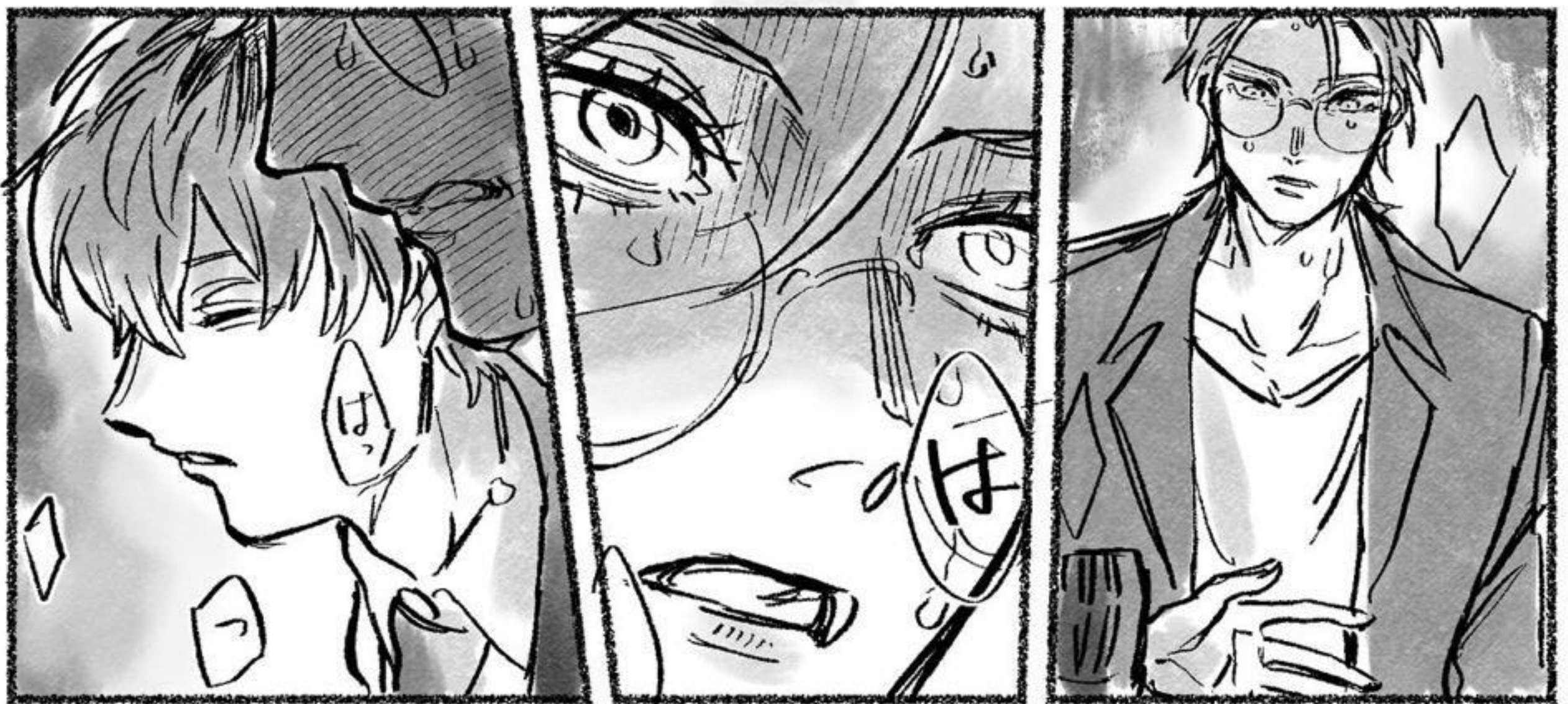
言うて盧笙は
アドリブ好きな方やし
すぐカバーできたし
お客さん気づいてへんし



それ自体は
些細なこと
けどその日を境に



コップが溢れたみたい
に
盧笙はどんどん
喋れなくなつてた







…その場しのぎやん



焦ってもええことないよ



凌いだらええやん!

二人で凌ごうや



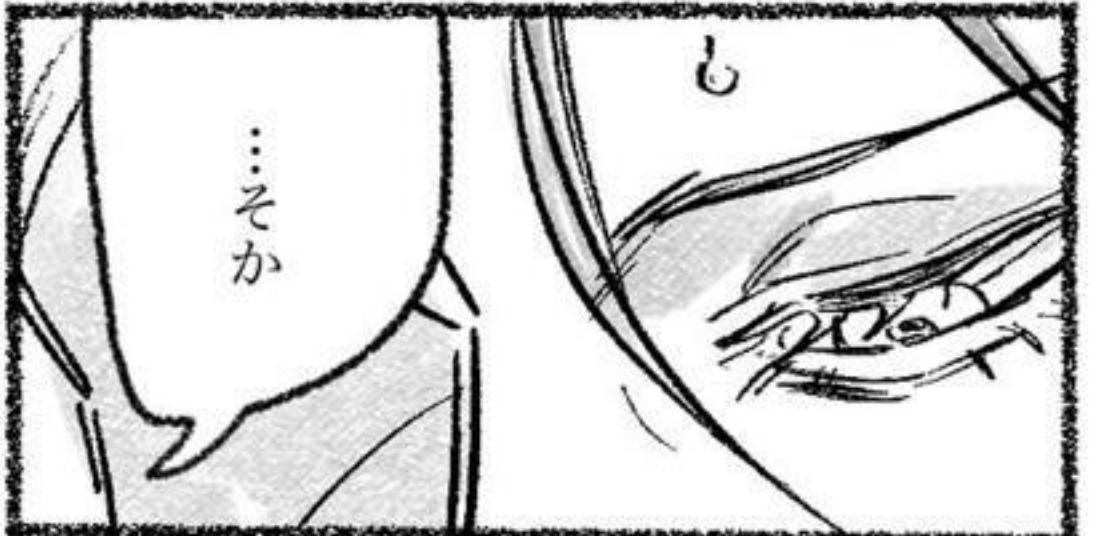
一緒に頑張ろや

…

結局
終わる時は
呆気ないもんや



ごめん









白膠木のやつ
飛ぶ鳥も落とす
なんとやら

ピンでやる言い始めた時は
ついに血迷うたか思ったけど...

...末恐ろしい奴やわ





ヌルデ
おつかれさん!

お前最後のフリ
最高やったなあ!
やっぱ俺と組まんか?

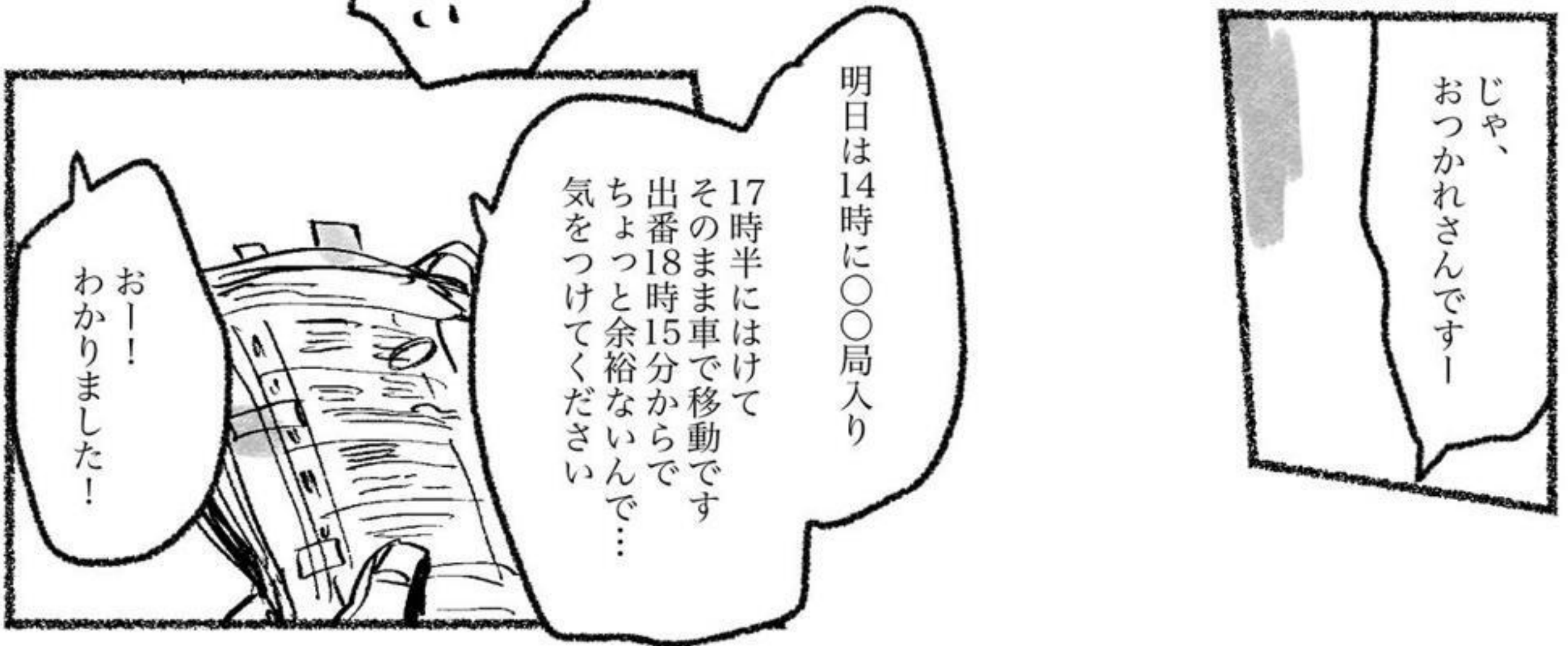
ほな
時給なんですけど...

高給な
お前のかい

今月電気代
厳しいんですわ

ワハハ

嘘こけお前
ようけ
もろとるやろ



じゃ、
おつかれさんですー

明日は14時に〇〇局入り

17時半にはけて
そのまま車で移動です
出番18時15分からで
ちよつと余裕ないんで...
気をつけてください

おー!
わかりました!



すみません
お弁当車のなかで
用意しときますんで

あ、ええよええよ!
俺あんまし腹減らんから
寝てるわー

ほうですか?

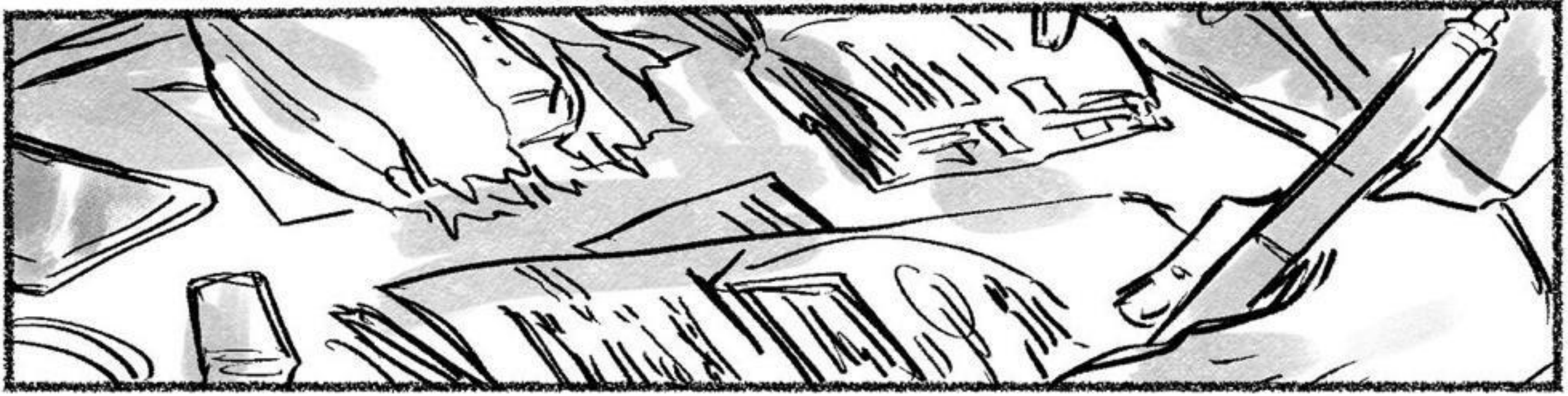
明日の確認
これくらいかなあ?

そうですね

高橋さんも
いつもおおきにな!

ほな!

...お疲れ様です






現地解散





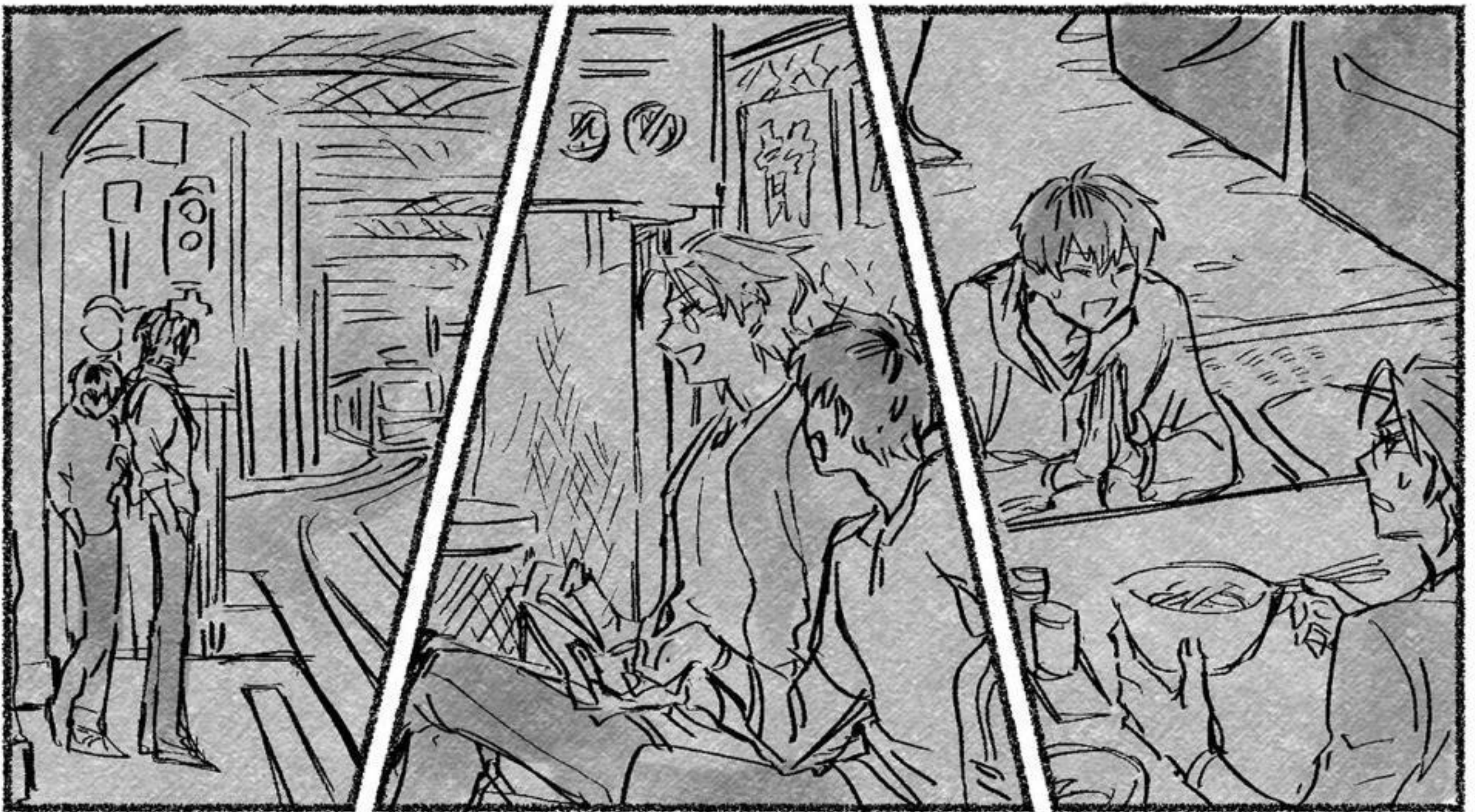


俺はお前と組めて
幸せもんや



2人でずっと
漫才してたいなあ…











多分
どっから間違えたか
わからんほどに

ほんまはずっと俺たちは
とっくに取り返し
つかんかったんかなあ



お前を
うしなつて



俺は手足が
もげたと思った



うるさくて
まぶしいよなあ

なんばは今日も



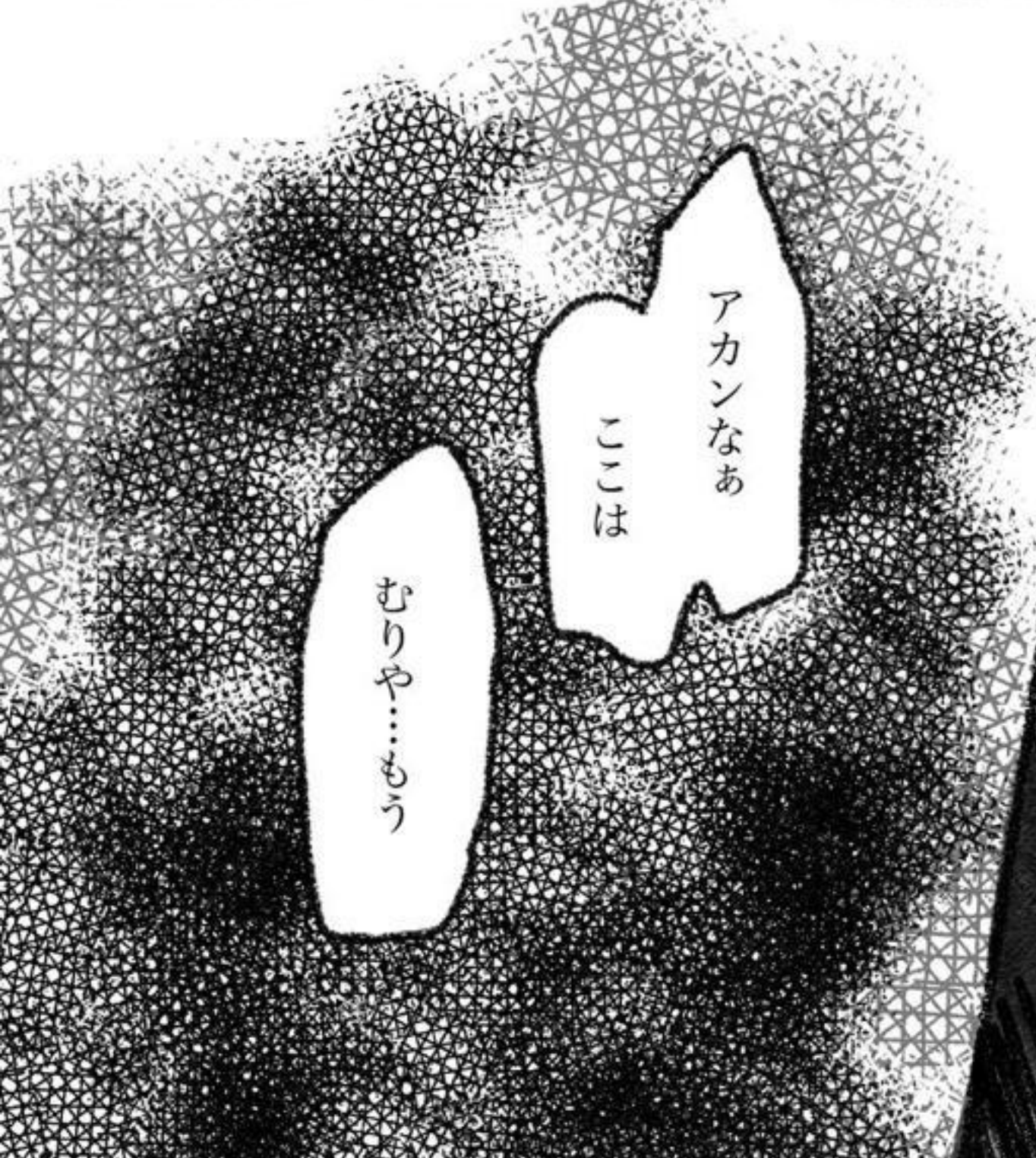
けど

足を動かしてみれば
歩いてしまうし



なんもかんも
むなしい

ああ
むなしい



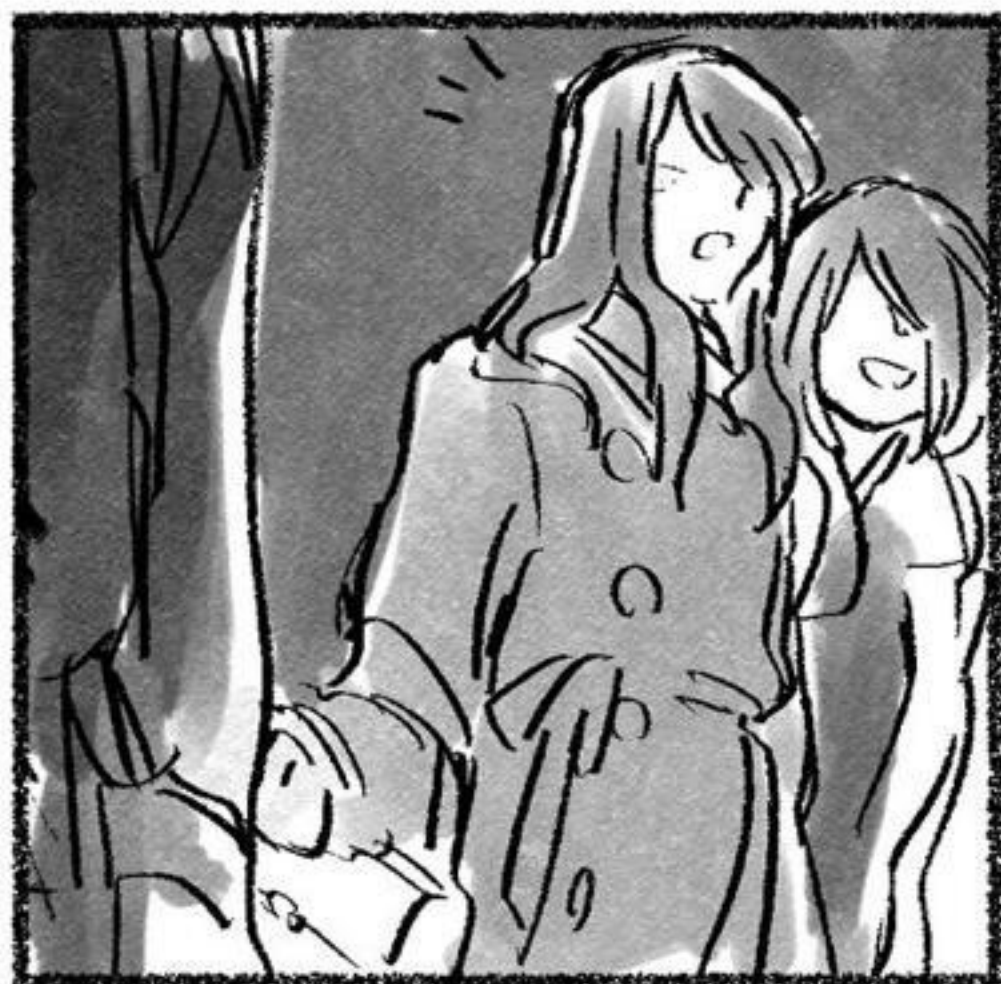
むりや...もう

アカンなあ
ここは





お兄ちゃん...
おー...
失態...失態...



ヌルデ〜!

お前今日も
絶好調やったな!

わかりましたあ？
昨日繊維質めっちゃ
とったんですよ

アホ
便通の話はしとらんわ！

腸だけに〜ってな！んはは

一時期どうなることかと
おもたけど…

むしろ前より
ノッてるやん

お前なら
どこ行っても
うまくやれるやろなあ

あーもーお前みたいなの
近くにおんの怖いわ

てかまた東京の局から
声かかってんコイツ

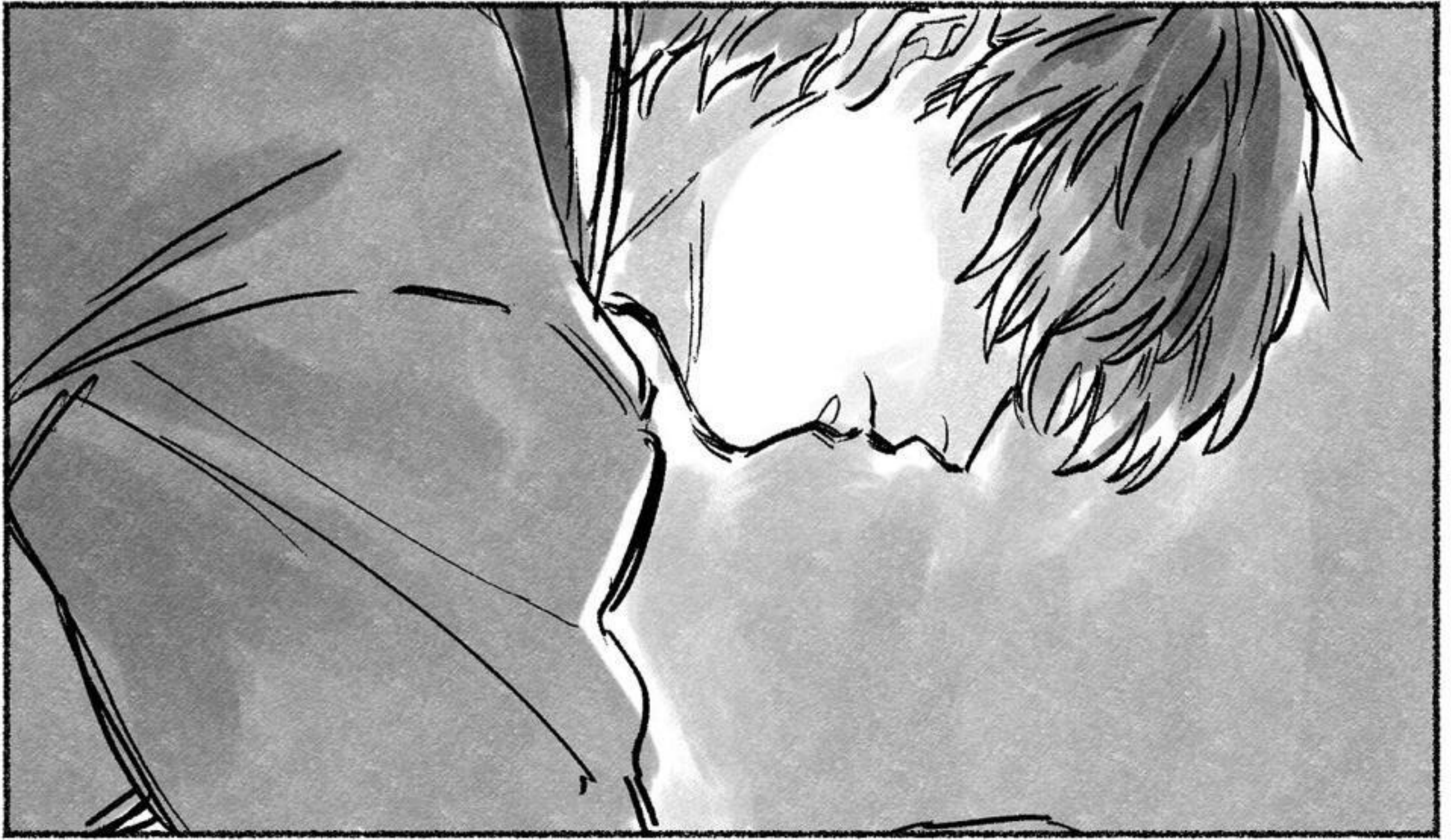
おっ
いよいよ進出か？

アカンアカン

こいつ前から
どれだけ言われても
大阪でやりますう〜つつつて
見向きもせんや

はあー？
もったいな！
腹立つ







おおさか賛歌

夜の部

へつづく

2020年に初めて出したろささの本でした。

アイカタバックアゲインとOwn Stageで盧笙と觥に惹かれて2人のことばかり考えているうちに、觥が東京に行った理由を自分なりに消化しようとして生まれた本でした。

通販分が完売していることと、「夜の部」の発行にあたって読み返せるように、また、AsBA公開記念として、web再録させていただきました。手に取ってくださった方、ありがとうございました。

D.H&B.A.Tコミカライズ始動前に書いたものなので、解散に至るまでの経緯や、漫才の立ち位置など細かい部分に最新設定との齟齬がありますが、觥が盧笙を引き止めなかったことについてや、觥の内心を想像してみた考えなど、基本骨子は今の解釈と大きくは変わらなかったもので、ほぼそのままでのweb再録となります。

プロットを切った時点ではここで終わる予定でした。

その後ヘルタースケルターなどを聞いて、

今の盧笙という人間と、觥という人間が形作られるまでについて考えたことを形にしておきたいと思い、「昼の部」「夜の部」という形で分割しました。

それぞれ単体でも読めるようになっていたので、

昼の部だけでも何か楽しんでいただけたなら幸いです。

ろささに幸あれ！

